

## 《 日韓教官交流の実施 》



1月17日、ソン・テククン韓国国防大学校安全保障大学院長（海軍准将）及びイ・ソンフン韓国国防大学校教授（空軍大佐）を招へいし、日韓教官交流が実施されました。同交流は、韓国の国防教育機関との意見交換を通じて、防衛研究所の教育内容の充実を図るとともに、安全保障に関するわが国と韓国との相互理解の促進を目的として実施しています。

中村範明所長との懇談でソン准将は研修員との意見交換を重視したいと述べられました。その後の一般課程講義「韓国の国防政策」では、現在の朝鮮半島情勢を踏まえた韓国の国防政策の現況や北朝鮮の脅威に関するソン准将の解説に対し、研修員から多くの質問があり、有意義な交流となりました。



また研究会では、イ教授が北朝鮮脅威への対応と抑止戦略の発展方向をテーマに報告し、北朝鮮の軍事行動への抑止を幅広い手段によって補完する必要性を韓国側の視点から解説されました。その後の質疑応答では、韓国の戦略における米国との同盟の位置づけや北朝鮮の合理性、サイバー戦、抑止の費用対効果などについて専門的な討論を行いました。